

官民連携による仙台市復興公営住宅

「(仮称)仙台市梅田町復興公営住宅整備計画」 (総戸数66戸)

7月より段階的に入居者募集開始

三菱地所レジデンス株式会社が仙台市青葉区梅田町で開発を進めている、仙台市復興公営住宅公募買収事業の一環としての復興公営住宅整備計画につき、今般入居者募集スケジュールが発表となりましたのでお知らせします。

本整備計画では、仙台市青葉区梅田町に鉄筋コンクリート造地上10階建の防災性の高い共同住宅の建設を行います。これは、2011年3月11日に発生した東日本大震災により住居を失い^{※1}、自力での住宅再建が困難な被災者が低廉な家賃で入居できる復興公営住宅を仙台市が整備する計画の一環として、仙台市の公募に当社が応募し選定されたものです。

仙台市は現在、このような復興公営住宅を3,200戸供給する目標を定めておりますが、復興公営住宅には、①仙台市が直接整備するものと、②早期供給を図るため民間企業等が有する土地や技術力を活用して、建物計画を公募し、適合する物件を買い取るにより供給されるものがあります。

本整備計画は、後者の買収事業において、当社が仙台市に対し応募し選定されたもので、建物完成後に仙台市が建物を買取り、公営賃貸住宅として供給するものです。本整備計画は、防災力・省エネルギー・低炭素化に配慮する建物とするだけでなく、様々な地域に居住する被災者が入居することから、新たなコミュニティが円滑に形成されるような工夫に加え、周辺地域の既存コミュニティとの融合を図れるような計画としています。今後、仙台市は本物件を含む復興公営住宅につき、7月より入居者を募集する予定^{※2}です。

※1 仙台市においては約2万9千戸の建物が全壊し、大規模半壊・半壊・一部損壊を含めると約2.5万戸の建物が被害を受けました。これまでも仙台市により1万2千戸の応急仮設住宅が供給されたものの、被災者が震災前の暮らしを取り戻すには、恒久的な住宅の早期確保が課題となっています。

※2 仙台市ホームページより引用(2014年5月末時点) <http://www.city.sendai.jp/kaiken/140527mousikomi1.html>

三菱地所グループでは、東日本大震災直後より、ハード・ソフト両面より被災地の復興支援に継続的に取り組んでまいりました。今後もより早く、実効的な復興へ向け取り組みます。



▲建物完成予想図

【「(仮称)仙台市梅田町復興公営住宅整備計画」の特徴】

◆入居者のコミュニティと周辺地域の既存コミュニティの融合

入居者同士だけでなく、周辺住民とのコミュニティ形成も促進するため、趣味の集い等で周辺住民とともに利用ができるよう、1階に集会所を配置します。集会所へのアプローチは住居へのアプローチと分けることで周辺住民も利用しやすい計画とし、集会所には防災倉庫を併設して、災害時の地域の防災活動拠点にもなる広さを確保しました。

◆災害への備え

1階および6階に防災倉庫を設置します。また、災害時の仮設トイレとして使用できるマンホールトイレや、炊き出しを行えるかまどベンチなどを備えます。

【「(仮称)仙台市梅田町復興公営住宅整備計画」概要】

所在地	宮城県仙台市青葉区梅田町404番1(地番)
交通	JR仙山線「東照宮」駅徒歩8分、地下鉄南北線「北四番丁」駅徒歩18分
敷地面積	2,129.23㎡
延床面積	4,648.39㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上10階建(高さ30.4m)
基礎工法	直接基礎
用途	共同住宅
総戸数	66戸
間取り	2K・3K・4K・4DK・車椅子対応住戸(2DK)
面積帯	約35㎡～約75㎡
建築主	三菱地所レジデンス株式会社
施工者	清水建設株式会社、阿部建設株式会社共同企業体
設計・監理	株式会社創建設計
着工	2014年1月20日
市宛引渡	2015年3月下旬(予定)

【「(仮称)仙台市梅田町復興公営住宅整備計画」周辺案内図】



※仙台市ホームページより引用

(http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/sumai/hukko/_icsFiles/afieldfile/2013/08/26/jutaku.pdf)

<参考>三菱地所グループの今までの取り組み

●泉パークタウン住民の方への食糧等支援物資のご提供

泉パークタウン町内会などに対して、支援物資（1万3千食以上の食糧や毛布・ランタンなど）の配布。

●三菱地所設計による、三菱地所開発物件及び三菱地所設計受託物件の建物診断

●宮城県亘理町において、東日本大震災で被災した荒浜地区の災害危険区域等土地利用計画策定業務

●宮城県気仙沼市において、東日本大震災で被災した宮城県漁業協同組合 気仙沼地区支所・気仙沼総合支所の設計監理業務

●宮城県女川町において津波で被災した中心部の復興まちづくり計画の策定・実行におけるアドバイス協力

●食ブランドの再生を通じた復興支援「Rebirth 東北フードプロジェクト」

地所グループの経営資源を活かし、東北エリアと丸の内シェフズクラブのシェフが連携し、東北エリアの食材と伝統野菜を用いた新消費・新メニューの開発・紹介等を通じ、東北の食ブランドの再生を図る取り組み。

2011年11月以来、6弾にわたって実施実績あり（2014年5月現在）。

●地域復興マッチング事業「結の場」への参加

復興庁宮城復興局・石巻商工会議所・気仙沼商工会議所が主催する「結の場」へ参加し、仙台市泉区で三菱地所グループが運営管理する商業施設「泉パークタウン タピオ」での石巻・気仙沼両地域の水産加工業の復興を目的とした販売会、並びに三菱地所グループ運営管理施設テナント関係者等との個別商談会を開催。